

## 第 36 回(令和 4 年度 第 1 回)黒部市公共交通戦略推進協議会 会議録

## 開催概要

- 日 時 令和 4 年 6 月 28 日 (火) 14 : 00 ~
- 場 所 黒部市民会館 101 会議室
- 出席者 協議会委員 18 名

## 出席者名簿

区分	所属	役職	氏名	出欠等	備考
第 6 条 第 2 項 第 1 号	地域公共交通網形成 計画を作成しようと する市町村	黒部市長	武隈 義一	本人出席	会長
第 6 条 第 2 項 第 2 号	関係する公共交通 事業者等	富山地方鉄道株式会社専務取締役	新庄 一洋	企画部 副部長	川村隆志
		黒部市タクシー協会 会長	神谷 尚機	本人出席	
		あいの風とやま鉄道株式 会社 専務取締役・総務企画部長	助野 吉昭	本人出席	
	関係する道路管理者	富山県新川土木センター入善土木事務所 長	川口 歳則	所長代理 岩井光彦	
第 6 条 第 2 項 第 3 号	関係する公安委員会	黒部警察署長	浅野 健一	本人出席	
	地域公共交通 の利用者 市民ボランティア	黒部市自治振興会連絡協議 会	大上戸 久雄	欠席	副会長
		黒部市民生委員児童委員協 議会 会長	田村 豊嗣	本人出席	
		特定非営利活動法人黒部ま ちづくり協議会 ワンコインプロジェクトリー ダー	菅野 寛二	本人出席	
		黒部市老人クラブ連合会 会長	此川 昇	本人出席	
		くるべ女性団体連絡協議会 会長	辻 順子	本人出席	
	政策支援 アドバイザー	中央大学理工学部都市環境 学科教授	原田 昇	本人出席	
	その他の当該市町村 が必要と認める者	北陸信越運輸局交通政策部 交通企画課長	玉巻 史成	欠席	
		北陸信越運輸局鉄道部計画 課長	菅原 幸三	欠席	
		北陸信越運輸局富山運輸支 局 首席運輸企画専門官	山倉 澄雄	本人出席	
富山県交通政策局交通戦略 企画課長		有田 翔伍	本人出席		
黒部商工会議所会頭		川端 康夫	本人出席	座長	
一般社団法人黒部・宇奈月 温泉観光局 代表理事		川端 康夫	事務局 長 坂井英次		
Y K K 株式会社 副社長 黒 部事業所長		浅野 慎一	企画推 進 グループ 長 岡 智和		
富山県交通運輸産業労働組 合協議会 議長	石橋 剛	本人出席			
宇奈月商工振興会	羽柴 進一	本人出席			

- 事務局：黒部市都市創造部都市計画課：山本部長、小森課長、山崎班長、櫻田班長補佐、田村主任、井田技師

(株)新日本コンサルタント：植原、茂木

## 会議次第

### 1 開 会

### 2 あいさつ（会長 武隈黒部市長）

### 3 報告事項

(1) 経過報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 1

(2) 役員交代について・・・・・・・・・・・・・・・・資料 2

(3) 令和 3 年度の市内公共交通利用者数について・・・・資料 3

(4) 市内路線バス・デマンドタクシーのダイヤ改正について・・・・資料 4

### 4 議案

議案第 1 号 令和 3 年度収支決算について（監査報告）・・・・資料 5

議案第 2 号 令和 4 年度収支予算（案）について・・・・資料 6

議案第 3 号 黒部市公共交通戦略推進協議会規約の一部改正について・・・・資料 7

議案第 4 号 黒部市公共交通戦略推進協議会作業部会規程の一部改正について・・・・資料 8

### 5 その他（事例紹介）

福祉版移動シェアサービスの実証実験について

### 6 閉 会

## 開会

●定刻通り開会し、会長の交代、委員の変更について、事務局が紹介を行った。

○進行：小森課長

## あいさつ（武隈市長）

●会長よりあいさつを行った。

本日は、第 36 回黒部市公共交通戦略推進協議会を開催したところ、委員各位においては、ご多用の中ご出席いただき感謝している。また、日頃より本市の公共交通の整備と運営にご理解・ご協力を賜り、心から感謝を申し上げる。

さて、今年度はゴールデンウィーク中の移動制限がなかったこと、また、移動時やイベント開催時の感染対策が、ある程度確立されたことにより、各地で久しぶりに賑わいが見受けられた。本市においても、2年ぶりに黒部名水マラソンを開催し、延べ 7,177 人のランナーに参加頂いた。ランナーの中には、公共交通を利用して会場まで来られた方も多数おられたかと思う。なお、各公共交通機関においては、ランナーのために忘れ物防止の注意喚起に関する案内を放送して頂くなどの配慮があったとのことなので、この場にて、お礼申し上げる。このように、コロナ禍ではあるが、最近は、徐々に元の生活が戻りつつある。

しかし、公共交通分野では、利用者、運賃収入が回復傾向との話も聞いているが、コロナ前と比較するとまだまだ厳しい状況が続いている。

本市においても、引き続き、各運行事業者のご尽力、公共交通の利用回復に向けた市民活動等に対し、積極的に協力していきたいと考えている。

また、話は変わるが、高齢化と免許返納の後について、公共交通ではなかなかカバーできていない地域での移動や最寄りの駅・バス停までの移動をどうするかという問題が、最近特に課題となってきていると感じている。これについては、他市町村の事例を参考に地域で支えあう仕組みを検討する必要があると考えている。そのための最初のきっかけづくりとして、本日は社会福祉協議会の方にご出席いただき、「福祉版移動シェアサービス」への取組について後ほどご紹介いただく。

最後に、本日の会議内容についてだが、報告事項が 4 件、議案が 4 件となっている。報告事項は、「令和 3 年度公共交通利用者数」等について、報告させていただく。議案は、「令和 3 年度収支決算」、「令和 4 年度予算案」、「規約の改正」等となっている。また、繰り返しになるが、その他では社会福祉協議会より「福祉版移動シェアサービス」の取組について紹介させていただくこととなっている。委員の皆様においては、忌憚のないご意見を賜りたく思う。

## 報告事項

- (1) 経過報告
- (2) 役員の交代について
- (3) 令和 3 年度の市内公共交通利用者数について
- (4) 市内路線バス・デマンドタクシーのダイヤ改正について

- 事務局より、資料 1、2 に基づき、経過報告及び役員の交代に関する報告を行った。

### ○ 川端座長

大上戸委員については本日欠席であるが、前年度本協議会の副会長を務めていた漆間委員の後任ということで、協議会規則に従い、5 月 28 日付で副会長に就任している。

- 事務局より、資料 3、4 に基づき、「令和 3 年度の市内公共交通利用者数」、「市内路線バス・デマンドタクシーのダイヤ改正」について説明を行った。

### ○ 川端座長

市内の公共交通利用者数については令和 2 年度に比べ回復傾向がみられるとのことであった。また、道の駅 KOKO ころべバス停の利用状況から、道の駅 KOKO ころべへは自家用車だけでなく、公共交通を利用して訪問するようなニーズもあるということが分かってきている。

### ○ 原田委員

今日は公共交通を乗り継いで、会場まで来ました。まず、厳しいコロナ禍で、これだけの公共交通を維持していることや、川端座長がおっしゃられた道の駅 KOKO ころべバス停の利用状況から、当該バス停により利用者の確保ができていくことについて、高く評価したい。南北循環線における一日当たりの乗車人数が当初目標の 6 割程度であるが、YKK 社員の

通通勤や出張における公共交通の利用制限はどのような状況になっているのか岡委員に教えていただきたい。

○ 岡委員

YKKの状況についてだが、コロナによる影響は収まりつつあり、それに合わせ、出張や帰省などに対する制限は徐々に解除している。また、工場勤務以外は在宅勤務を基本としていたが、必要な入社・出張については制限を解除しており、それに合わせ、公共交通の利用も徐々に元に戻していきたいと考えている。特にYKK社員が主に利用する南北循環線については、社員の行動制限の解除により利用者数の回復が見込まれると思う。

○ 此川委員

コミュニティ交通・デマンド交通についてだが、乗降者数は示していただいたが、乗車率等はどのような傾向がみられるのか教えていただきたい。

○ 事務局

デマンドタクシーについては一日当たりの利用者数のほかに、一便あたりの利用者数も集計しているが、一便あたりの利用者数はほぼ1、2人程度となっている。これはデマンドタクシーが予約方式をとっており、一人でも乗客がいる場合は運行する必要があるためである。この結果は、一見、効率が良くないように考えられるかもしれないが、デマンドタクシーを運行している地区は住宅が点在しており、路線バスの運行に馴染まない地区であると考えられる。そのためこのような地区では、一日当たりで一定人数の利用が見込まれるデマンド方式での運行が適しており、他の路線バスのように大人数の利用が望めるものではないということをご了承いただきたい。

○ 川端座長

他に意見がなければ、議案事項に進む。

## 議案事項

議案第1号 令和3年度収支決算について（監査報告）

議案第2号 令和4年度収支予算（案）について

議案第3号 黒部市公共交通戦略推進協議会規約の一部改正について

議案第4号 黒部市公共交通戦略推進協議会作業部会規程の一部改正について

● 事務局より、資料5に基づき、令和3年度収支決算について説明を行った。

○ 川端座長

審議の前に、監事である菅野委員より監査報告をしていただく。

○ 菅野委員

令和4年度6月13日に、私、菅野と田村委員にて本協議会の令和3年度事業及び収支決

算について、諸帳簿、証拠書類を監査した結果、いずれも適正にして相違ないことを確認したことを報告する。

○ 川端座長

本議案について、質問や意見はあるか。

○ 此川委員

経過報告で報告された「第 31 回黒部ワンコイン・フリーきっぷ」という事業について、収支決算書に記載がないが、この事業の現況や課題等について教えていただきたい。

○ 事務局

黒部ワンコイン・フリーきっぷの運営や予算については本協議会とは別となっているが、公共交通の利用促進をする市民活動においては、非常に大切な事業だと認識している。

活動内容については、休日に指定区間での公共交通が乗り放題となる切符の販売を行うというものであり、こういった活動を持続的に行うことで、市民に市内の公共交通に対して関心を持っていただきたい、といった考えで実施されているものだと認識している。このため、本協議会としても当該事業の活動にはできる限り協力をしてきたいと考えている。

○ 川端座長

当該事業のプロジェクトリーダーである菅野委員より意見はあるか。

○ 菅野委員

当該事業については黒部市民にあまり浸透していない。黒部市外の他市町村から老人クラブ等の団体が利用している実績がある一方で、市内の高齢者の多くが利用したことがないと考えられるので、秋の開催時には老人クラブ連合会の方々には利用していただきたい。コロナ禍の影響もあり、ノルマの達成が難しくなっている状況であるため、秋の実施時は多くの利用をお願い申し上げる。

○ 川端座長

他に意見がなければ、本議案について承認していただける方は拍手をしていただきたく思う。

● (出席している多数の委員から承認の拍手をいただいた。)

○ 川端座長

多数の委員の承認を得られたため、議案第 1 号については議案通りで承認とする。それでは次の議案に進む。

● 事務局より、資料 6 に基づき、令和 4 年度収支予算(案)について説明を行った。

## ○ 川端座長

本議案について、質問や意見はあるか。

## ○ 岡委員

2点ほど申し上げる。まず、南北循環線と新幹線生地線における負担金について、事務局から「YKKの配慮で負担額が増額になった」と説明があったが、この認識は間違いだと考えている。YKKはもともと社員専用のバスを自費で運行させており、その中で、南北循環線と新幹線生地線については、YKK社員が通通勤でよく利用するため、もともと社員バスの運行に使用していた経費を、この2路線に対して使用する形で応分の負担をしているという認識をしている。このため、「YKKの配慮で増額になった」という認識は間違いであることをご了承いただきたい。

2点目は、先ほどの説明では、市内の路線バスでかかる費用が前年度でおよそ6,487万円、今年度では7,165万円とのことだが、これは本協議会の範疇での費用であり、市全体の路線バスにかかる費用ではないと考えられる。そのため、本協議会での収支予算書はこれで良いかと考えるが、市全体の路線バスの収支については次回の協議会等でお示ししていただきたいと思う。

## ○ 事務局

1点目の負担金の認識については、認識の違いであり、応分の負担ということで理解いたします。

2点目の市全体の路線バスの収支については、昨年度も2回目の協議会で報告していたため、今年度も2回目の協議会にて報告できればと考えている。なお、参考までに令和2年度の市全体の路線バス収支は、運賃収入は2,459万3,000円、運行経費は1億2,498万3,000円、収支は△1億39万円となっている。令和4年度についてもこの数値と同等か、若干増えることが予想されている。

## ○ 有田委員

収支に関連する件についてだが、先日、県では公共交通事業者向けの燃料費高騰対策支援について2億4,000万円の補正予算を計上した。この支援についてはガソリン代だけでなく、電気代の高騰にも対応しているため、ぜひ、市からも交通事業者への支援策の検討をしていただきたく思う。

## ○ 事務局

その件については、今後、県から要綱をご提示いただけるとのことなので、その内容を確認のうえ、市内部で検討をしていこうと考えている。

## ○ 川端座長

他に意見がなければ、本議案について承認していただける方は拍手をしていただきたく思う。

- (出席している多数の委員から承認の拍手を頂いた。)
- 川端座長  
多数の委員の承認を得られたため、議案第 2 号については議案通りで承認とする。それでは次の議案に進む。
- 事務局より、資料 7、8 に基づき、「黒部市公共交通戦略推進協議会規約の一部改正」及び、「黒部市公共交通戦略推進協議会作業部会規程の一部改正」について説明を行った。
- 川端座長  
特に意見がなければ、本議案について承認していただける方は拍手をしていただきたく思う。
- (出席している多数の委員から承認の拍手を頂いた。)
- 川端座長  
多数の委員の承認を得られたため、議案第 3、4 号については議案通りで承認とする。議案については以上となる。

## その他

- 川端座長  
福祉版移動シェアサービスの実証実験について、黒部市社会福祉協議会より説明をしていただく。
- 黒部市社会福祉協議会の小柴氏より、資料に基づき福祉版移動シェアサービス SW-M a S について説明を行った。
- 川端座長  
先進的な取組かと考えるが、実際にこういった取組の事例はあるのか。
- 小柴氏  
地域で福祉の移動リソースを活用するといった取組であれば、群馬県前橋市、兵庫県豊岡市の事例が挙げられる。
- 川端座長  
本協議会のような公共交通分野と福祉分野の連携可能性について、どのように考えているのか。
- 小柴氏  
黒部市においても福祉の路線を集約すれば、公共交通に活用することも可能だと考えてい

る。そのために、まずは、福祉のニーズを収集しデータ化するといったところから始めていき、将来的には、福祉の路線を集約した上で、交通事業者に委託していきたいと考えている。

○ 岡委員

さまざまな利害関係者が存在する中で、個々の団体の既得権や自己主張が強いと、収支なども含め、団体間での調整などが難しくなると考えるが、そういった課題などがあれば教えていただきたい。

○ 小柴氏

現在は助成金をいただき実施をしているが、来年度以降は持続可能な仕組みづくりが必要と考えている。ただ、本取組では送迎サービスを集約することで、効率的なサービスを提供し、コストの縮減が可能になると考えている。また、社会福祉協議会という立場だけで進める場合は、関係者各位に声がけする必要があるが、一般社団法人という立場から、関心を持った方に参画していただき、本取組に参加意欲がある団体を巻き込み、賛同を得ながら進めていきたいと考える。

○ 川端座長

原田委員より一言いただきたく思う。

○ 原田委員

よい話を聞くことができて良かった。会議に出席した甲斐があった。

小柴氏が発表された取組については全国的に先進的な事例もあるかと思うので、それらについて確認し、黒部市の特性に合うものについては参考にしていければよいかと考える。

○ 川端座長

他に質問や意見がなければ、武隈会長からも一言いただきたく思う。

○ 武隈会長

本日は貴重なお話をしていただき感謝を申し上げる。先ほどの原田委員の発言であった、先進的な取組の事例については、今後も紹介していただき、黒部市として参考にできるものは取り入れていきたいと考えている。こういった新しい取組については黒部市としてもできる限り協力をしていきたいと考える。また、交通部門だけでなく福祉部門の黒部市職員にも、こういった話を聞いていただき、黒部市としても交通部門と福祉部門で連携するような取組について考えていければよいと思う。

○ 川端座長

他に質問や意見がなければ、その他の事項は以上とする。



## 閉会（事務局）

- 事務局よりあいさつを行った。

川端座長には、円滑な議事運営をいただき感謝いたします。以上をもって第 36 回黒部市公共交通戦略推進協議会を閉会とします。本日は、誠にありがとうございました。

以 上